

⑫ 公開特許公報 (A)

平3-169967

⑬ Int. Cl. *

E 04 F 15/02
15/04
15/16

識別記号

C
B
F
E府内整理番号
7805-2E
7805-2E
7805-2E
7805-2E

⑭ 公開 平成3年(1991)7月23日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全4頁)

⑮ 発明の名称 置敷き床材

⑯ 特願 平1-306911

⑰ 出願 平1(1989)11月27日

⑮ 発明者	林 守男	大阪府門真市大字門真1048番地	松下電工株式会社内
⑯ 発明者	山崎 清好	大阪府門真市大字門真1048番地	松下電工株式会社内
⑰ 発明者	峰岸 康之	大阪府門真市大字門真1048番地	松下電工株式会社内
⑱ 出願人	松下電工株式会社	大阪府門真市大字門真1048番地	松下電工株式会社内
⑲ 代理人	弁理士 石田 長七	大阪府門真市大字門真1048番地 外2名	

明細書

1. 発明の名称

置敷き床材

2. 特許請求の範囲

(1) 土下地面上に置敷きされる置敷き床材であつて、柔軟性を有するシート状の合成樹脂成形品質の基材の裏層に厚い木質化粧板が複層され、基材の一箇所に嵌合突部が形成され、他の場所に嵌合突部が形成することができる嵌合凹所が形成され、嵌合突部と嵌合凹所との一方に嵌合の突部が形成され、他方に嵌合の突部が嵌入して嵌合を図る嵌合凹所が形成されて成ることを特徴とする置敷き床材。

3. 発明の詳細な説明

【産業上の利用分野】

本発明は、モルタル、コンクリート等により仕上げられた床下地上に直接に置敷される置敷き床材に関するもので、詳しくは木質の表面を有しながら、木質系における張りを固定し、接着性も付与し、か

かる構成のものを製作容易に行なうとともに、その施工において嵌合のを行う嵌合が構成も容易に構成しようとする技術に係るものである。

【技術的問題】

從来から、モルタル、コンクリート等により仕上げられた床下地上に置敷される木質床材は知られている。例えば、第1面に示す如く、木質合板のような木質基板1aの裏面に複数個の溝bを差設し、同裏面にタッション钉cを貼着してなる木質床材Aaが知られている。ところでこのような木質床材Aaは、床下地上に接着あるいは荷打ち施工等により固定されて基礎施工されるものであり、溝bとタッション钉cによって、防音効果が得られるものである。しかしながら、このような木質床材Aaにおいては、溝bが設けられているものの、木質基板1aには周辺柔軟性がなく、充分な周辺柔軟性を得るために、溝bの並び間隔を増やしたり或いは溝bの深さを多く形成した場合には、溝bに対応して木質化粧板2の裏面に亀裂が発生し易く、強度及び表面安定性となるものであつ

1 一基材
 2 一木質化被覆
 3 一吸食突起
 3a 一吸食の尖部
 4 一吸食凹窓
 4a 一吸止の凹窓

